

2019 ロータリークラブ WEBアンケート 報告（会長版）

株式会社ロードフロンティア

代表取締役社長

成熟社会専門家

並木将央

（ビジョン策定委員会 編集）



調査内容

全国のロータリークラブに対してアンケート調査を行いました。
本報告は各クラブ会長に対する質問項目の集計です。

① 調査の目的

全国のロータリークラブの現状を把握するため

② 調査対象

全国のロータリークラブ会長(2,252クラブ:2019年10月末現在)

③ 調査方法

インターネットによるWEBアンケート

④ 調査期間

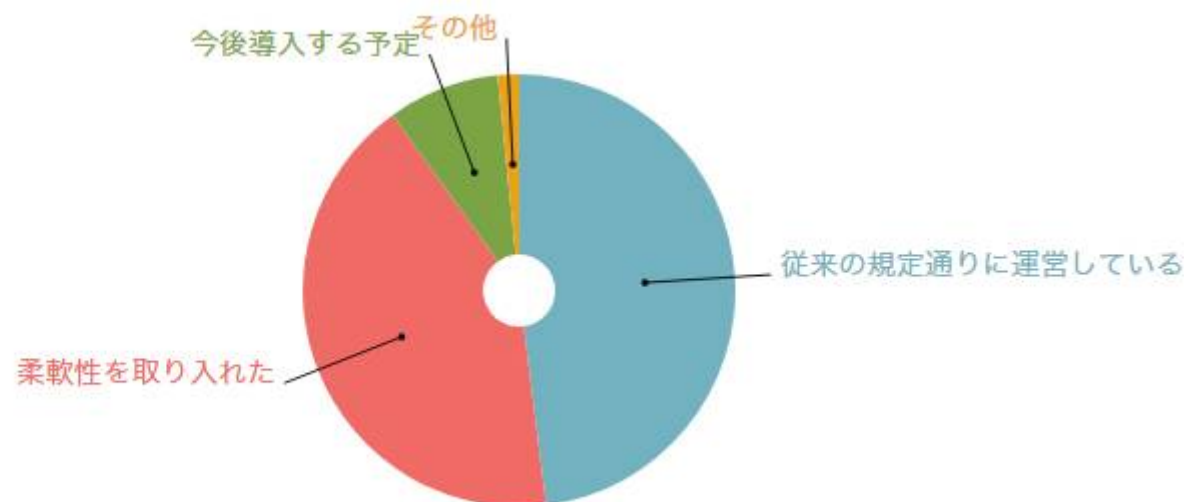
2019年10月～2019年11月

⑤ 有効回答数:1,103クラブ

⑥ アンケート回収率:49.0%

1. 2016年規定審議会において、**クラブ運営に大幅な柔軟性（例会、出席、会員身分）**が認められました。あなたのクラブでは**どの様に対応していますか？**

半数以上のクラブが従来通りまたは検討中と柔軟性への取り入れを見送っているといえます



◇	回答選択肢 ◇	回答数 ◇	回答%
1	従来の規定通りに運営している	516	48.00%
2	柔軟性を取り入れた	452	42.05%
3	今後導入する予定	90	8.37%
4	その他	17	1.58%
回答者数		1075	

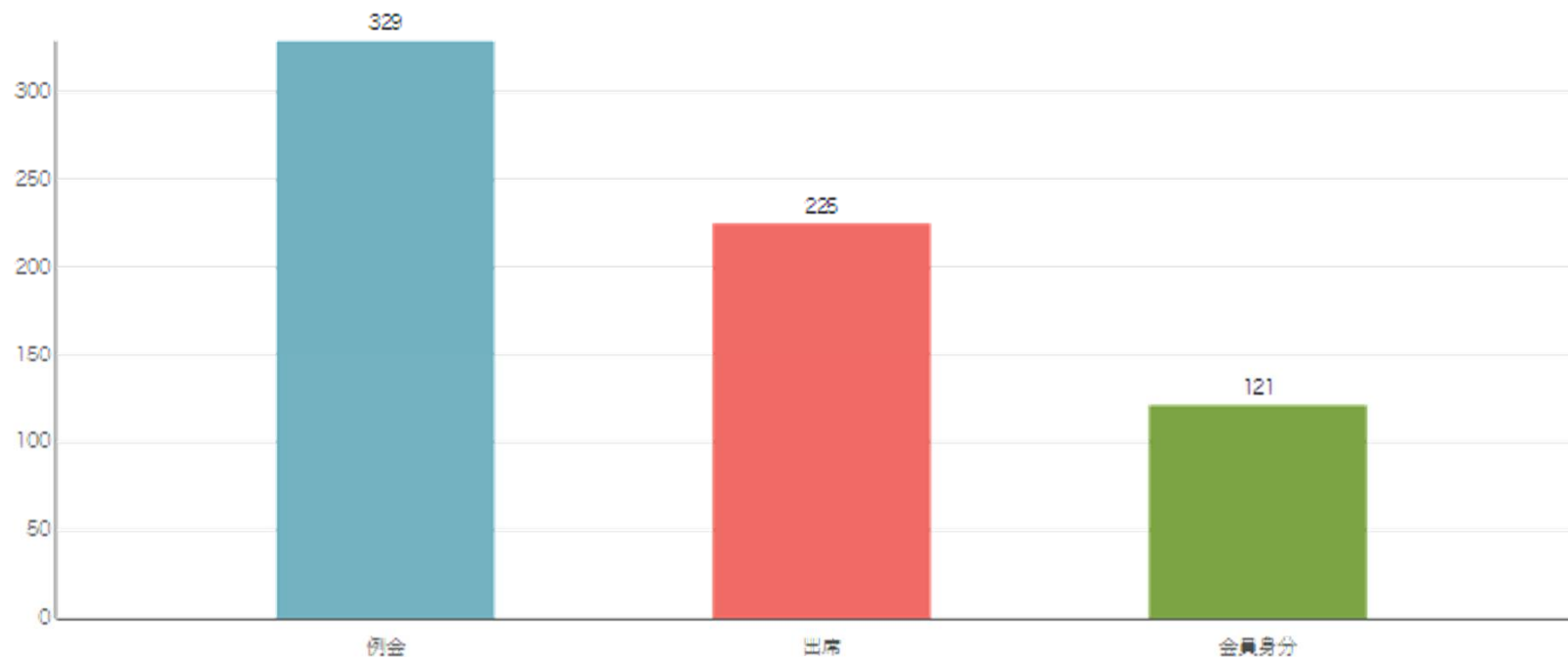
その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

「協議中」「検討中」「決まっていない」のみの回答は除いたものを紹介します。
その他と答えたクラブは、会員の意見を聞いて今後について検討しているクラブが多いようです

今年度は従来通り運営しているが、今年度中に全員の意見を聞いた上で来年度の対応を決定する。
細則委員会を立ち上げ、詳細を決定する。
細則変更検討委員会を立ち上げ、会員にアンケートを取った上で、クラブ戦略委員会とも協議して方針を決定する予定で動いている。
近く、理事会にて方針を決定する予定
出席補填について、従来通り前後2週間とする旨細則に盛り込んだ一方、理事会の認めるクラブ行事については年度内出席補填可能とした。
メイクアップの期間を前後1か月にする方向で検討中
他ロータリークラブとの合同例会 ロータリーOBを招待しての例会
規定を取り入れるか検討を十分尽くし、現在の運営がクラブの特性にふさわしいとなった。結果として、従来の規定通りの運営を行っている。
会員の意見を聞いた上で、理事会審議そして臨時総会に諮る。
すでに4年前から例会回数を月2回にしている。会費も最低限で会員の負担を極力軽減して有効に甲斐の運営をしている

「柔軟性を取り入れた」と答えた方は取り入れた事柄で当てはまるものを選択してください（複数選択可）

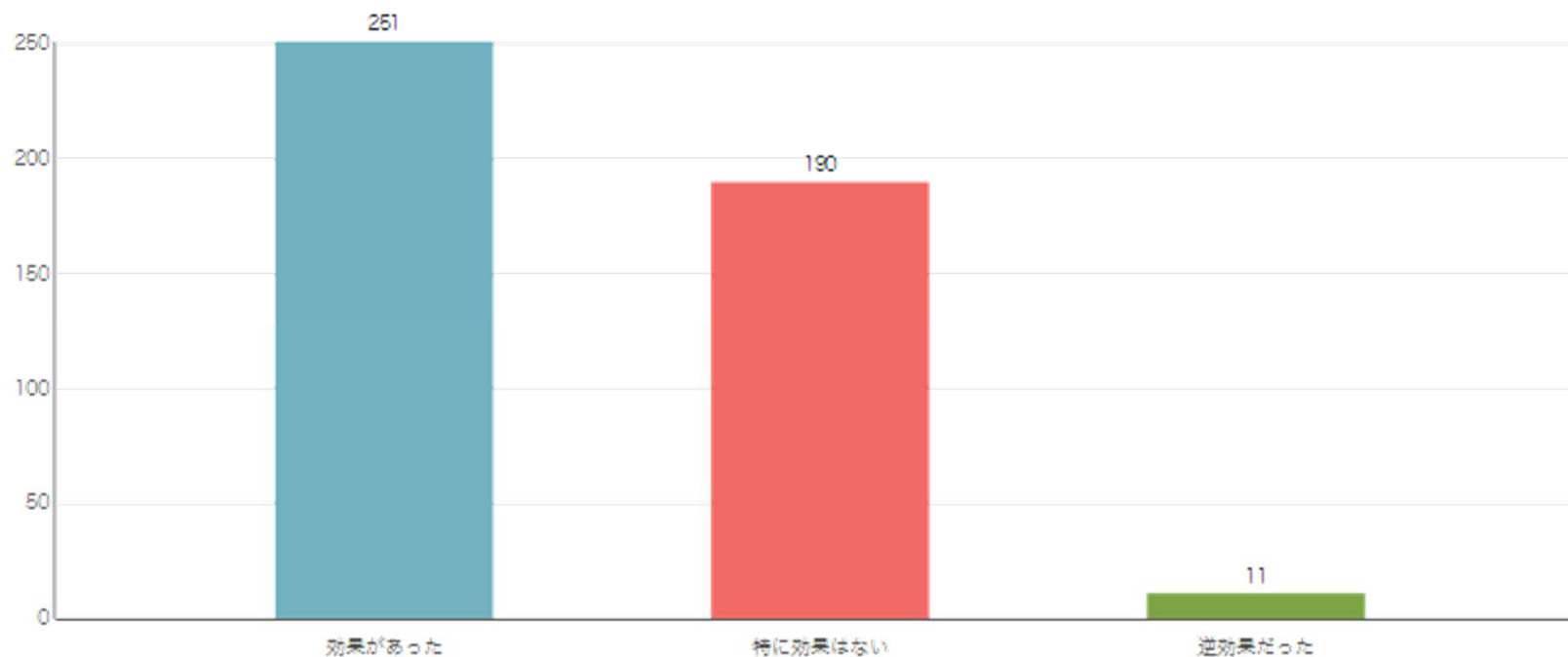
柔軟性を取り入れたと答えたクラブの7割が例会に対してだったといえます。
会員身分については約1/4に収まっています



◇		回答選択肢 ◇	回答数 ◇	回答%
1		例会	329	72.79%
2		出席	225	49.78%
3		会員身分	121	26.77%
		回答者数	452	

柔軟性を取り入れたクラブに、**その効果**についてお聞きします。

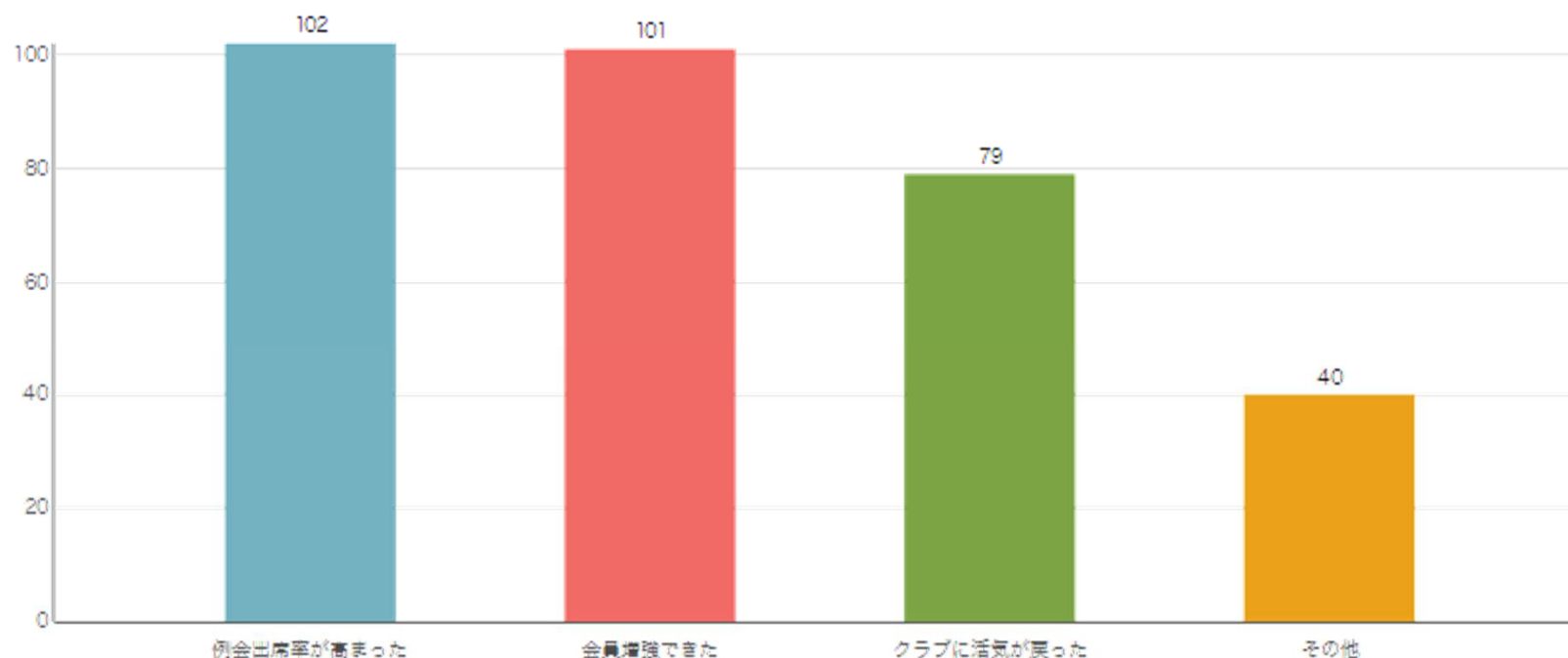
半数以上のクラブで効果があったとのことですが、特に変わらなかったクラブも4割あり、
なお一部のクラブでは、逆効果になってしまったクラブもあったようです



◇		回答選択肢 ◇	回答数 ◇	回答%
1	■	効果があった	251	55.53%
2	■	特に効果はない	190	42.04%
3	■	逆効果だった	11	2.43%
回答者数			452	

「効果があった」と回答した方は効果をお答えください（複数選択可）

効果があったと感じたクラブでは「出席率の向上」「会員増強」が4割を超え、1/3のクラブで「活気が戻った」という結果が出ています



◇		回答選択肢 ◇	回答数 ◇	回答%
1		例会出席率が高まった	102	40.64%
2		会員増強できた	101	40.24%
3		クラブに活気が戻った	79	31.47%
4		その他	40	15.94%
回答者数			251	

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

例会の回数減による費用の削減、仕事との両立、メーキャップ期間の延長、意識向上、組織の見直しなどが意見として挙がっています

例会回数を減らし、例会費が少なくなった

例会回数の減少により会費の据え置きに効果があった

会費の値上げをしなくてもクラブ運営ができる

例会回数が減った事で金銭面での運営が少し楽になった

例会の回数を減らし経費の削減ができた。

メイクアップの参加が増えたように思えます。

会員との距離感が縮まった

例会場での例会を月2回とし、移動例会や他クラブ主催行事・地区行事などmakeupに入れる。例会は「会うからこそできること」に集中。例会日を待たず連絡や報告をオンラインで随時行う。事務局を持たないので、運営担当者が体力的に楽になっている。

会員増には難しいが退会防止にはつながっていると思う。

月5週ある月の5週目に休みを取り入れたことにより 例会にメリハリが出たように思う

例会場変更に伴い例会場の利用金額が上がりそのため 例会回数を月間3.5回に変更したため年会費を上げずに運営ができた。

e-クラブでメーキャップが可能となり、入院等で前後2週間にメーキャップ出来ないような時にメーキャップが可能となり、連続出席を続けることが可能になった。

仕事とロータリー活動との両立に余裕ができた



その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

情報集会が多くなり、親睦が増した
新会員には好評
例会の出席に関しゆとりができた。
余裕を持って例会出席出来るようになった。
これから選択肢のような効果が出ると思う
例会経費の削減になった
出席であったり例会であったり 意識は高まっておりますが結果が出ていません
年間プログラムが組みやすくなった
例会回数が減ることで予算支出を抑える事ができた
会員の意識が高まった
共友の行動ができた
組織の見直しができた。
導入直後であり、効果は不明
クラブ協議会で協議し、理事会で例会の前後1か月のメイクアップ期間にする方向となったが、来年から実施のため、まだ効果は未定です。
財務的に有効になった
例会会場が削減でき経費削減となった
クラブに新会員を勧誘しやすくなった。

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

例会費を削減できた。
まだ効果検証できていません。
効果があったか現段階では不明
各月の例会数を減らすことで経費（食事代等）節減につながった。
財務内容が良くなった。
効果の有無はこれから出てくる。
財政面
自由裁量の部分が増えたことは良いことだと思う

「逆効果だった」と答えた方は理由を入力してください

メーキャップ期間の延長や例会数を減らしたことが原因という意見が多く見られます

従来のメーキャップ方法（前後二週間）が1年先まで有効になったおかげで、「いつか補正が出来るだろう」という曖昧な感情が先走り、肝心のホームクラブ出席率が、蔑ろになってしまった。来年からは、クラブ細則で、元に戻そうと思う。この改正は、最悪な改正だったと思うので、早急に改正を強く望む。

例会数を減らすことで既存会員の帰属意識が薄れた。会員同士の接点が減り奉仕活動等の進行に支障をきたした。入会身分を緩和したことで新会員のレベルが低下した。

柔軟性を取り入れた為に（特にメーキャップ期間の延長）出席に対する義務感（責任感）が低下しているのではないかと思います

第5例会を休会にしたために月によっては例会場での例会が四週間あくということがあった。

反対意見がかなり噴出

例会数を月4回から3回に減らしたが、その結果各事業や様々な情報が会員に伝わりづらくなり、出席率参加数が下がっている。HPやFB等での情報発信も強化しているが、そもそもSNS等を日常的に利用している会員が少ないため効果は上がっていない。

出席率が低迷している

例会出席率が悪くなった

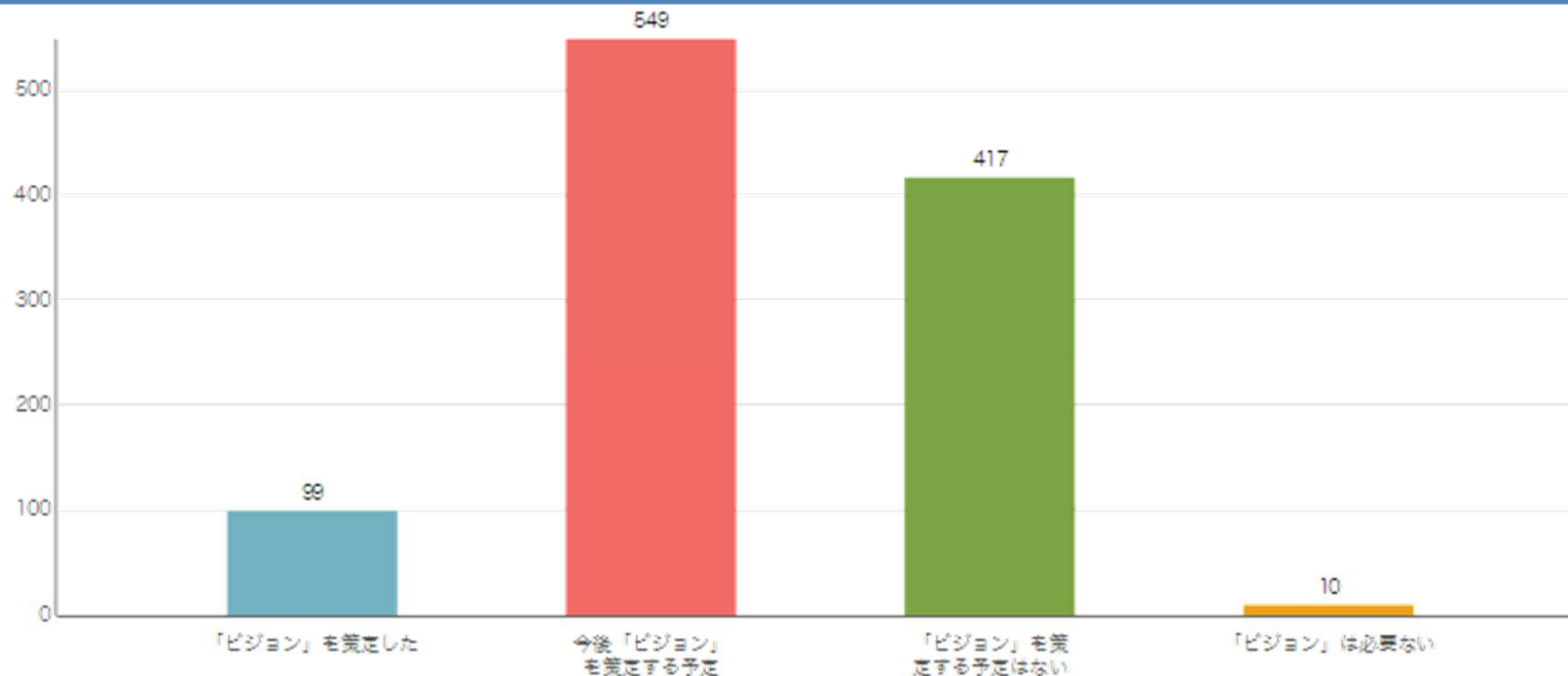
一年以内にメーキャップとしたら中々メーキャップしなくなった

逆効果だったとまではいえないが、例会を4回から3回を減らしたことにより、会員同士のコミュニケーションがとりにくくなってしまった。

月2例会や特別会員（お試し）制度などを実行した結果、ロータリーの本質を見失うような弊害が発生した。

2. クラブの「ビジョン」と「戦略計画」について。あなたのクラブには、**10年以上先のクラブの「ビジョン」（クラブのあるべき姿を描いた将来像）**がありますか？

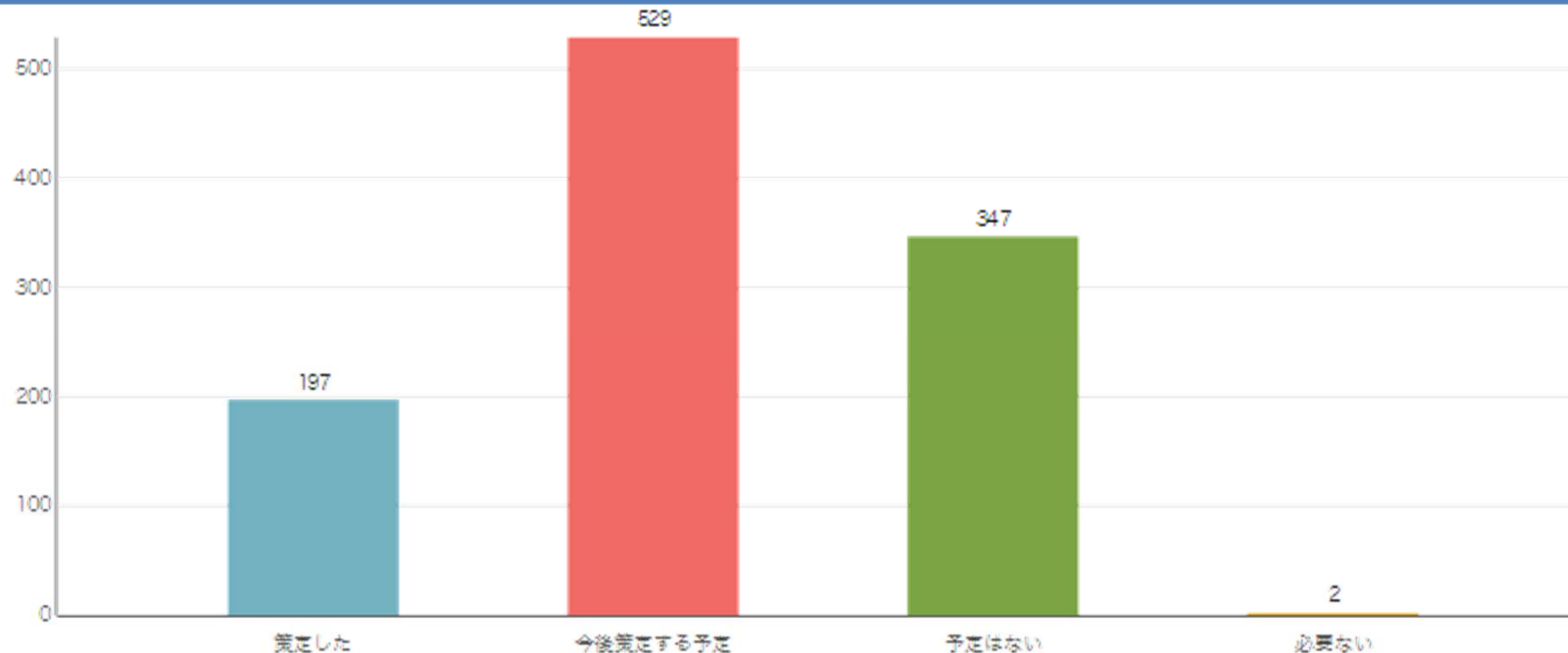
ビジョンの策定が済んでいるのは1割に満たないですが、半数以上が今後ビジョンを策定する予定とのことです。しかし、4割のクラブではビジョンを策定する予定がないようです



◇	回答選択肢 ◇	回答数 ◇	回答%
1	「ビジョン」を策定した	99	9.21%
2	今後「ビジョン」を策定する予定	549	51.07%
3	「ビジョン」を策定する予定はない	417	38.79%
4	「ビジョン」は必要ない	10	0.93%
回答者数		1075	

あなたのクラブには、**今後3～5年の、目標設定を含んだ「戦略計画」（行動計画 Action Plan）**がありますか？

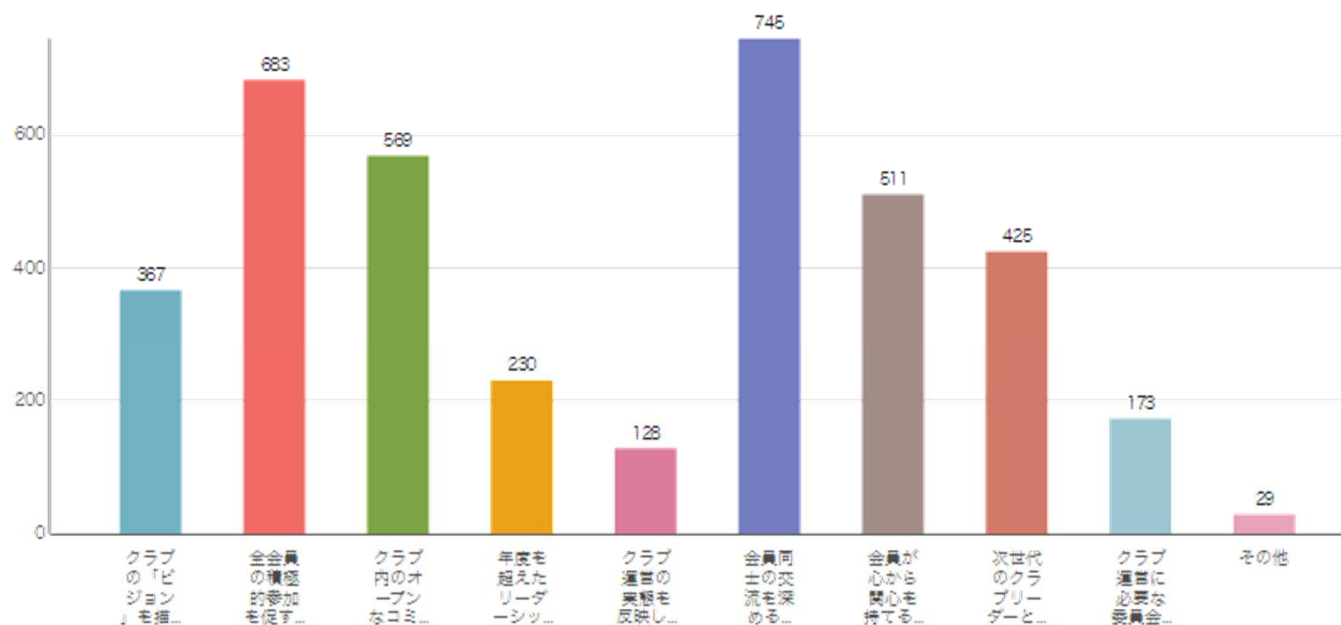
戦略計画を立てているクラブは約2割、今後策定する予定は約半数を占めています。
しかし、約1/3は策定する予定がないようです



◇	回答選択肢 ◇	回答数 ◇	回答%
1	 策定した	197	18.33%
2	 今後策定する予定	529	49.21%
3	 予定はない	347	32.28%
4	 必要ない	2	0.19%
回答者数		1075	

3. あなたのクラブを元気にするために必要なことは何ですか？（複数回答可）

「会員同士の交流を深める」「全会員の積極的参加を促す」が大多数を占めているといえます



回答選択肢	回答数	回答%
1 クラブの「ビジョン」を描き、「戦略計画」〈行動計画〉を推進する	367	34.14%
2 全会員の積極的参加を促す	683	63.53%
3 クラブ内のオープンなコミュニケーションを回す	569	52.93%
4 年度を超えたリーダーシップの継続性を回す	230	21.40%
5 クラブ運営の実態を反映した細則を整備する	128	11.91%
6 会員同士の交流を深める	745	69.30%
7 会員が心から関心を持てる活動に参加できるようにする	511	47.53%
8 次世代のクラブリーダーとなれる人材を育成する	425	39.53%
9 クラブ運営に必要な委員会を柔軟に設置する	173	16.09%
10 その他	29	2.70%
回答者数	1075	

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

「会員増強」という回答が多く見られます

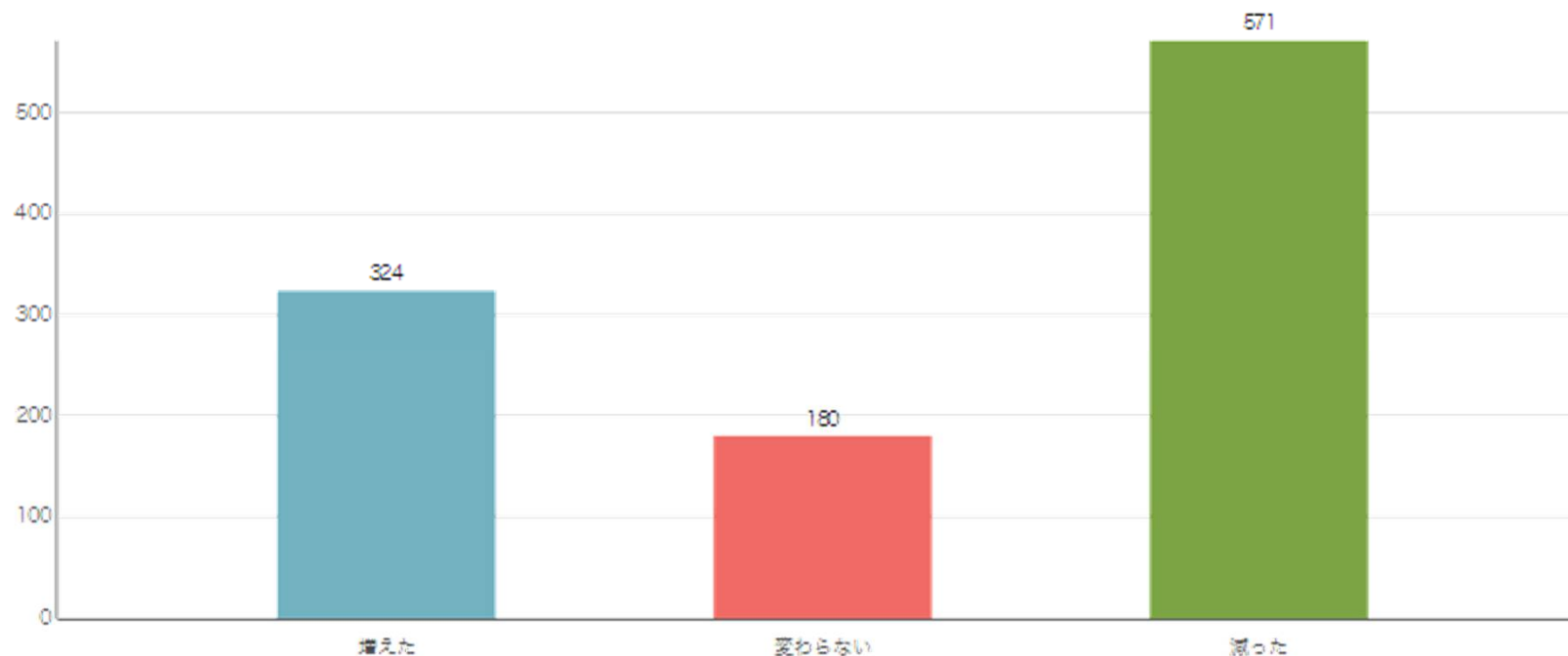
同好会活動に力を入れていく
若い方に入会していただくこと
全員参加型の奉仕活動の実施
会員増強
ロータリーとしての事業へのコミット
社会奉仕、職業奉仕を通して親睦を深め、会員一人一人それぞれロータリーライフを楽しんで頂いている。
会員の多様性、特に若い会員、女性会員の入会を促進する。
クラブシステム（礎）の構築
会員増強
会員数の増加
原発事故により避難指示がでた地域の定住人口の増加と産業の振興
時代に合わせた合併など親クラブ、子クラブ等協議する。
単年度の運営の為、意思統一が難しい
会員数の急激な減少で奉仕活動においても例会運営費においても厳しくなっている。 現在28名であるが40名以上のクラブとなるように「会員増強」が重要課題です。

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

50周年事業
ロータリークラブの存在理由を自覚する
夜間例会や近隣クラブとの合同夜間例会を増やす。
親睦あつての奉仕活動と自分は考えています。ただ単に義務的に参加する奉仕よりもクラブメンバーが仲間意識をもって参加する奉仕とでは充実感や達成感等得るものが全然違うと感ずますし、クラブの活力・個性につながっていくのではないのでしょうか。
増強
委員会を活性化する。
ロータリー的前例踏襲や単年度主義の功罪を皆で考える。BOSSとリーダーの違いを学び、リーダーになりきる勇気と覚悟を実践する。
会員増強
若年層（30代後半～40代）の新規入会
ロータリークラブの原理原則を習得したうえでの環境変化に対する諸施策の検討が必要
次世代の幹事・次期幹事で友好クラブと話し合う。
地域他団体との連携
近隣他クラブとの協同
会員増強
会員増強

4. クラブの会員増強について。(1) あなたのクラブの会員数は、10年前に比べて(創立が10年以内のクラブは、創立時に比べて)増えましたか？

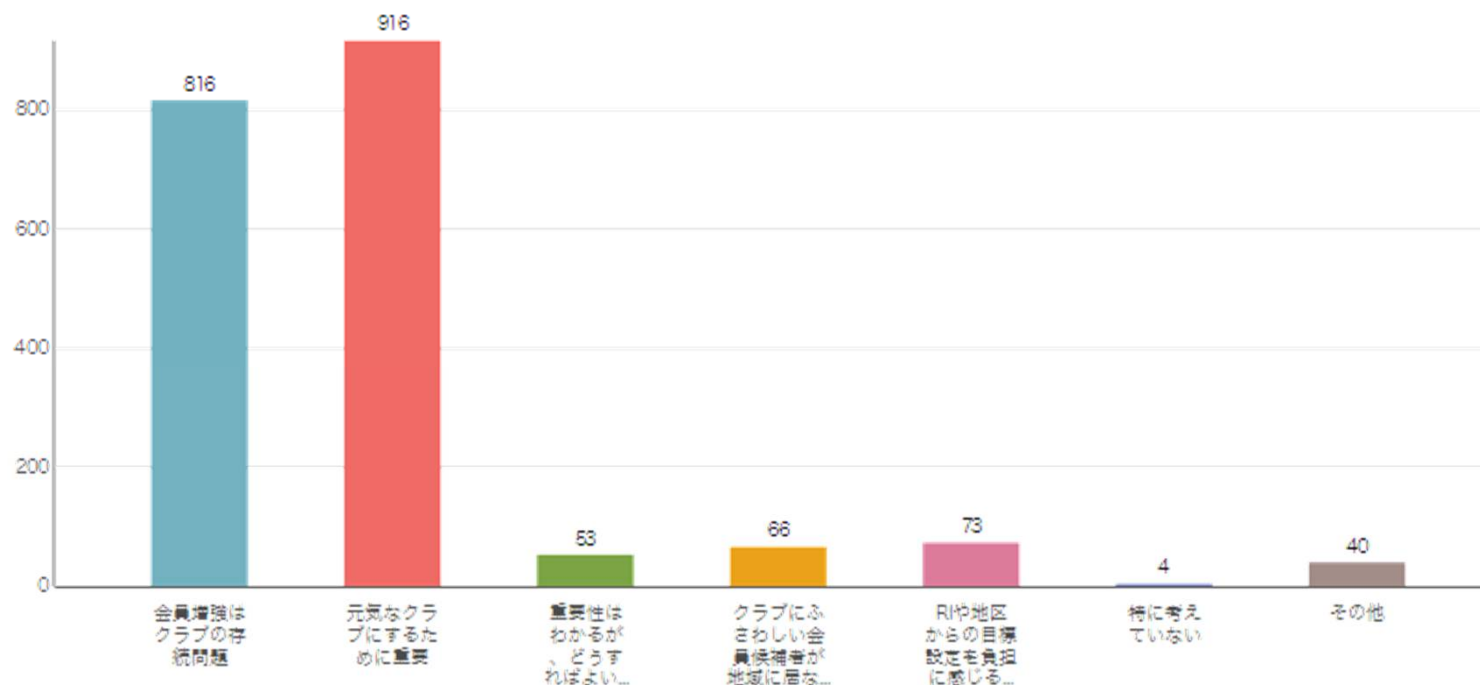
半数以上のクラブで会員数は減っていると回答しています



◇	回答選択肢 ◇	回答数 ◇	回答%
1	 増えた	324	30.14%
2	 変わらない	180	16.74%
3	 減った	571	53.12%
回答者数		1075	

(2) 会員増強に対する意識を教えてください（複数選択可）

「元気なクラブにするために重要」「会員増強はクラブの存続問題」が大多数を占めているといえます



回答選択肢	回答数	回答%
1 会員増強はクラブの存続問題	816	75.91%
2 元気なクラブにするために重要	916	85.21%
3 重要性はわかるが、どうすればよいかわからない	53	4.93%
4 クラブにふさわしい会員候補者が地域に居ない	66	6.14%
5 RIや地区からの目標設定を負担に感じる	73	6.79%
6 特に考えていない	4	0.37%
7 その他	40	3.72%
回答者数	1075	

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

数が全てではないという意見が多く、意識改善を求めるクラブが多いようです

今年度から、組織的な会員増強に取り組んでいる。多少成果が出ている（現時点（会員数19名）で3名拡大、純増2名）が、ターゲットとしている事業所が少ない（当クラブの将来を考え若い（30代後半から50代前半）世代の経営者若しくは役員）こともあり、中々拡大が進まない。（働き盛りということもあり多忙という理由が多い）

会員増強の目的が、組織防衛的要素が強く、奉仕活動との関連性が希薄。RIの予算・決算や財団運営の見直しにより、プライマリーバランスを維持すべき。奉仕活動が「楽しい」と感じられるようにすることが重要と考える。

会長が先頭に立って旗を振る事と思っております。何もしないと増強は出来ません。

若い経営者は多忙

クラブ運営に携わる意識のあるクラブ会員が必要

人数増強より、帰属会員の意識の向上を図ることが優先されるべきである。その結果として魅力あるクラブ形成がされ、理想的な会員増強が促されると考えます。

長いつきあいになる友人が、入会歴に関係なく、忌憚なく意見を交わして活動できる、会員同士がフラットな関係のクラブでありたい。その年度に「今、運営を担当できるメンバー」が会長・幹事・会計などの役を引き受け、活発に活動できる中核メンバーが数名いれば、残りの「今は、育児・介護・病気・会社がたいへんな状況」等の会員も可能な範囲で貢献してロータリー活動を継続できる・・・それが可能なシステムを構築中。

数が全てではないが、自然減に対する対策、継続した奉仕活動の為に必要

会員一人ひとりの意識

会員増強も重要なことですが、退会防止に重点を置いています。

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

増強の前に会員のクラブへの帰属意識を高めることが重要
名前だけの会員はいらない。出席できる余裕ができれば入会してもらおう。数は力なりだが、きわめて重要とは思わない。
数は力なりだが、多忙でまったく例会に出席する余裕のない会員は不要。ただし、毎回例会に出席する必要はない。
一丁目一番地の最重要項目
小さなクラブをつくりすぎた
人材不足もあるが 多くなりすぎるとクラブの雰囲気が変わってしまう
ライオンズクラブの会員増強に押されている
慢性的な会員減少の状況に危機感を感じながら、会員一人一人が何とか増強しなければという意識が不足していると思う。また100名を超えるクラブが地区内に複数あるが、そのクラブの魅力と会員の意識を学びたいと思う。または、10名～20名程のクラブの合併や毎回の合同の例会をすることも必要な時期に来ているのかも知れない・・・。
増強と言うより補充の考え必要
じっくり人選する。
会員増強を、促進する意見を持つ会員と、反対となる事をしたいと言う意見を持つ、会員が混在する。つまり、多様性を認めたがらない会員が存在する。
会員増強は必要だけど無理な会員増強はクラブの存続問題になる
諦めず、クラブにふさわしい人を待ちつつ、喜んで活動してくれる人に声をかける
会員増強を優先しすぎると会員の質が低下する。クラブも拡大しすぎるとロータリーの質が低下する。

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

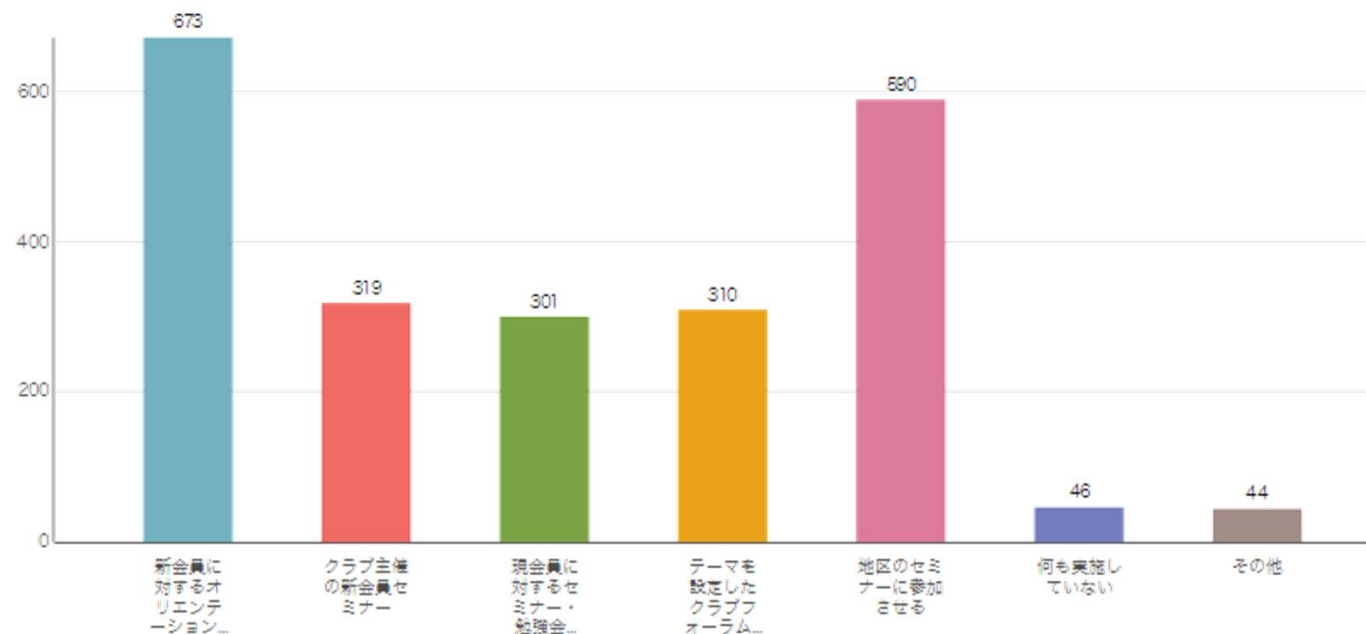
事業資金
数より質が大事
経済的問題が原因している
分担金、協力金、寄付金の軽減
経営者交流セミナーをクラブ独自で定期的に行ない、会員増強を図るなどの工夫をしている
クラブの継続・存続を考えたとき会員の増強は必要不可欠と思いますが、増強一辺倒の考え方には疑問を感じる事もあります。この度の規定審議会でローターアクトのRI加盟の件でもRIは量を求めすぎているように感じられ質に対してどのように取り組んでいるのか伝わってこないです。
入会希望者はあるが、ふさわしい人物を選考している。困っていない。
会員拡大はクラブ活性化の一番で有ることは充分承知して入会、即退会では拡大に繋がらないので、当クラブでは、時間は掛かるかもしれませんが、人と人の繋がりで時間はかかりますが、確実な拡大を目指しています。
候補者はいるが一人で経営など諸般の事情がある
予想していたより景気が悪くなっている。
親睦を深めるためには、会員が多い方が良い（当然、ロータリークラブの会員となるに相応しい人物であることが前提ではあるが）。なお、私は以前証券会社に勤めていた経験もあるので、会員勧誘のために出向くことは気にならない。
クラブ創立30周年を迎える2021年には50名に達したい
後継者をとお願ひするも、本人が出たいと言われ、若い世代に繋がらない。

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

地域の人口減：個人企業減少などあり、会員候補が少ない
増強で数のみを求めることには異論あり、あくまでもロータリークラブのステータスや理念の上に立ち、ふさわしい人材の加入を求めている。当クラブは予算上も65～70名は必要と考えている。
会員増強の重要性に異論は無いが、過疎・高齢化地域で景気の先行きも不透明（今後、上向きになる可能性は低い）といった状況下でのクラブ運営においては、都市部のクラブとは違う様々な条件・問題があり、4.（2）の回答例からは選択できない。
ロータリークラブへの関心や理解を広め、深める活動だと思っている。
経済的な問題が原因している

5. あなたのクラブは、会員に対してどのような**ロータリー研修**を実施していますか？
(複数回答可)

「新会員に対するオリエンテーション」「地区のセミナーに参加させる」が大多数を占めています



順位	回答選択肢	回答数	回答%
1	新会員に対するオリエンテーション	673	62.60%
2	クラブ主催の新会員セミナー	319	29.67%
3	現会員に対するセミナー・勉強会	301	28.00%
4	テーマを設定したクラブフォーラム	310	28.84%
5	地区のセミナーに参加させる	590	54.88%
6	何も実施していない	46	4.28%
7	その他	44	4.09%
回答者数		1075	

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

例会ごとの実施、その他卓話の実施など様々な意見が挙がっています

1、新会員勧誘対象事業所の経営者等に声掛けし、一度事前に集ってもらい、「ロータリーについて」「当クラブの活動について」等説明をした上、入会の検討時間を設け、後日（1～2週間程度）事業所を訪問する等で新規拡大を図っている（事前説明会の実施） 2、今後は、新会員がある程度まとまった（5名程度）時点で、再度、新会員研修セミナーを実施したい。

同好会活動、各委員会の開催

MyROTARY等ウェブサイトの活用を促す。

新会員の増強が第一と思いますが、退会者を出さないように意識高揚をはかっていくこと。

グループ単位での研修リーダーによるロータリー研修の導入

新会員に対するオリエンテーション実施の予定

新会員でも委員会や3役を打診する。「委員長・委員」「会長・幹事」の組み合わせを、1人がフレッシュロータリアン、もう1人が会員歴の長いメンバーとして、役割を果たしながらクラブの仕組みを学び、地区のセミナーに参加している。現場で学ぶ。

新会員フォロー懇談会

同好会に出来るだけ参加して頂き仲間を作りそれが結果的にロータリー研修の道が開かれていくと思う

パストガバナーからの卓話、新会員へは、おりおりの説明など。

テーマを設定したファイヤーサイドミーティング

他クラブにメイクに行き、良い点を取り入れられる様にする

新会員の人となりを知っていただき、既存会員と親しくなるために、新会員卓話を実施している。また、同時に新会員入会お祝いと歓迎懇親会を行っている。



その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

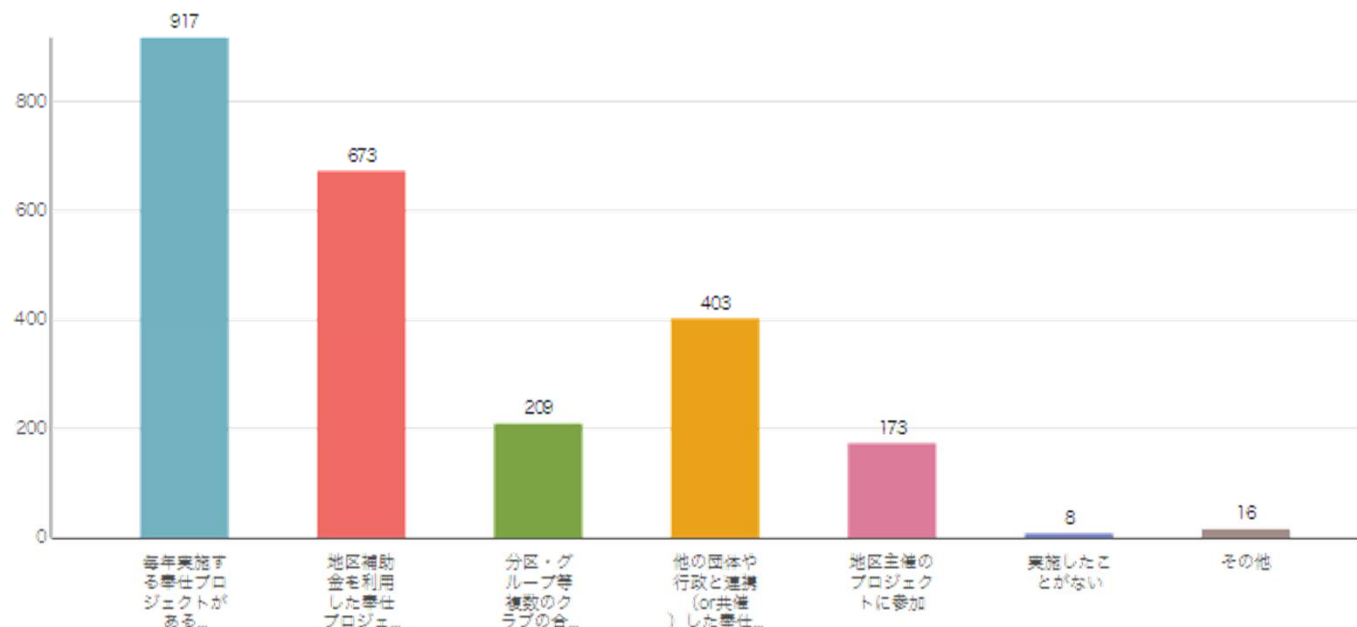
定期的には実施されていないが、ファイヤーサイドミーティングを実施
個別に声をかけ仲間意識を絶やさぬよう注意を配る
クラブフォーラム（子ども食堂など）を設定
毎月1回合同委員長会議に3年未満の会員を出席義務とし色々な話をする
本年度の「情報集会」において、「5年後のあなたとクラブ」のテーマで、会員自身とクラブビジョンについて意見交換を行なった。
クラブ理事会へのオブザーバー参加
IM、ルーティーンワークとして毎回のホームクラブでの例会の出席（当然のように）
年長の会員さんにロータリークラブの経緯等など、フォーラムを開催し卓話の時間を設けています。2か月に一度の予定です。
4つの班に分け、別べつに日に少人数による、ホームミーティングを行う 特に次年度会長の意向に対する意見や、現在の状況の意見交換をする。
ロータリーの友読み合わせ
懇親会等におけるフレンドリーな教示
接触を増やして意思の疎通をはかる。
4地区に分けて、定期的に懇親会を開き増強等につき情報を共有している。
重点月間に担当委員長が例会で卓話をし啓蒙している
様々な職業分野のゲストを招いて、スピーチを聞くことによって会員の視野を広げている。
炉辺会合の実施（上半期・下半期、各1回）

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

カウンセラー制度の導入
個人に対して機会ごとに対応する。
ロータリー音読タイムと名付けた5分程の時間を例会内に取り、ロータリーの歴史や理念、奉仕の意味やあり方などを勉強する。
メイン事業の協力体制づくり
会員に近隣クラブでのメイクを実施してもらう。
例会終了後の例会場＝事務局での親睦
セミナーのようなものはもうけてないが口頭で説明
各事業に積極的に参加してもらう。
例会にて研修リーダーの卓話
IMなどの参加
過去、クラブ内で新会員向けのセミナー等開催したが、継続はされていない。今年度も、地区主催の新会員セミナー等案内をしたが、対象者皆、業務多忙のため出席出来なかった。地方クラブの会員の特徴として、1名～数名で運営する事業主も多く、各種セミナー等の出席が困難な場合も多いと思われる。
新会員と現会員一緒に、親睦会を開きます。そして、親睦会をとおして親交を深める。
地区セミナー参加会員の報告会、会員卓話、今年度の創立記念行事で米山梅吉記念館創立記念50周年記念に参加し梅吉の偉業を学ぶ
家庭集会での情報交換

6. あなたのクラブでは**地域社会に対する奉仕プロジェクト**を実施していますか？ (過去～現在) (複数回答可)

「毎年実施する奉仕プロジェクトがある」「地区補助金を利用した奉仕プロジェクト」が大多数を占めています



回答数	回答%	回答選択肢	回答数	回答%
1	85.30%	毎年実施する奉仕プロジェクトがある	917	85.30%
2	62.60%	地区補助金を利用した奉仕プロジェクト	673	62.60%
3	19.44%	分区・グループ等複数のクラブの合同プロジェクト	209	19.44%
4	37.49%	他の団体や行政と連携 (or 共催) した奉仕プロジェクト	403	37.49%
5	16.09%	地区主催のプロジェクトに参加	173	16.09%
6	0.74%	実施したことがない	8	0.74%
7	1.49%	その他	16	1.49%
回答者数			1075	

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

グローバル補助金を利用した奉仕プロジェクトという意見や他への協力という意見が挙がっています

断続的な奉仕活動
現在地区補助金プロジェクト委員会活動を実施中
地域の小中学生に対する食育教育への協賛
音楽家の会員が複数いた年度にチャリティー音楽会を3回開催。翻訳と教育関連の会員が常に複数いるので、福島県のクラブと合同で震災被災の養護施設に絵本寄付プロジェクトを過去3回実行。今後も不定期で継続予定。昨年始めた地域の児童養護施設への奉仕は今年も再来年も継続することを決定した。
ラブアース（海岸清掃活動）に参加する。
共催事業や後援事業等
近隣の5クラブ主催の奉仕プロジェクト
グローバル補助金を活用しての奉仕プロジェクトを行う。
グローバル補助金を利用した奉仕プロジェクト
毎年、児童養護施設との交流事業を実施しています。社会奉仕になるのかわかりません。
地域対象として特定して実施しているものはないが市植物園との関係で植樹やベンチ寄贈等を実施してる。
地域のまつり等のイベントへ参加し、他の団体と交流する
今期は、リレー・フォー・ライフ・ジャパン〇〇に参加しました。 ・寄付(募金箱)3箱分 ・K医大グラウンド・24時間タスキを回しながら皆んなで歩きました。
ボーイスカウトに協賛している

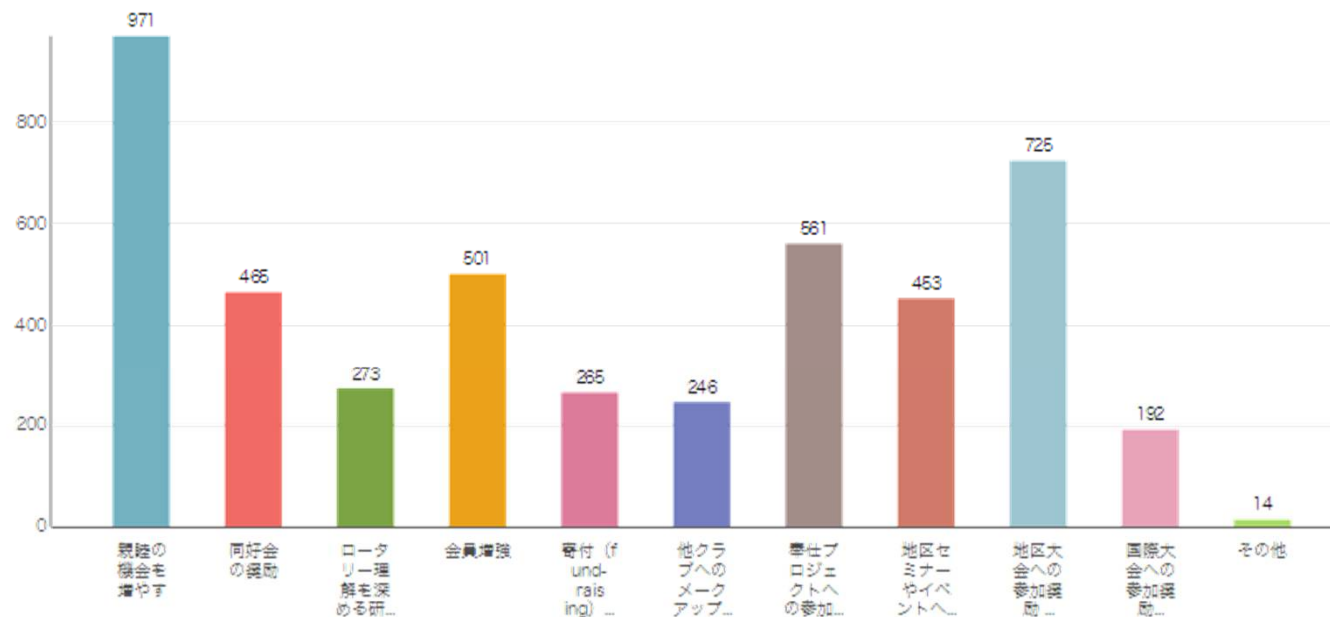
その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

ここ数年費用の問題で実施できていない。

クラブ独自の事業「友愛奉仕活動助成金事業」

7. あなたのクラブでは、**会員がロータリーの活動に積極的に参加する（engage）**のを促すためにどのように工夫していますか？（複数回答可）

「親睦の機会を増やす」が9割を超え、次に多いのが「地区大会への参加推奨」で約7割に及んでいます



順位	回答選択肢	回答数	回答%
1	親睦の機会を増やす	971	90.33%
2	同好会の奨励	465	43.26%
3	ロータリー理解を深める研修の実施	273	25.40%
4	会員増強	501	46.60%
5	寄付 (fund-raising) に対する意識・理解を高める	265	24.65%
6	他クラブへのメイクアップ奨励	246	22.88%
7	奉仕プロジェクトへの参加奨励	561	52.19%
8	地区セミナーやイベントへの参加奨励	453	42.14%
9	地区大会への参加奨励	725	67.44%
10	国際大会への参加奨励	192	17.86%
11	その他	14	1.30%
	回答者数	1075	

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

例会のときの工夫、その他卓話の実施が挙がっています

例会をはじめいろいろな行事に積極的に声掛けをして意識を高めております。

例会を充実させる為月に一度は外部卓話を取り入れている。 今期目標は「クラブに入って儲かったと思える」様になろう。 新人達の他のクラブとの交流を促進する。 クラブ内での会話を推進する、みんなの事をもう少し知り合おう。

RCCへの全員参加

それぞれの会員が、充実した（職業・プライベート共に）人生を送ること。自分と異なる分野で活躍する友人の見解・感性・手法を尊重し、ちがいをおもしろがること。クラブ外の友人に、おもしろいから一緒にやろう、と言えるクラブづくりが増強の根幹。

親睦を始めとし、仲間としての絆を深め活動を行う。

地域貢献などの具体的な活動に参加してもらう

委員会活動の活発化。委員会の中でもプロジェクトをわけ、それぞれが何らかの役割をもつことで参加者意識を持ってもらい、連帯感へとつなげる。

他クラブとの交流会

例会時の席をクジ引きで決めている。

特別な工夫はない

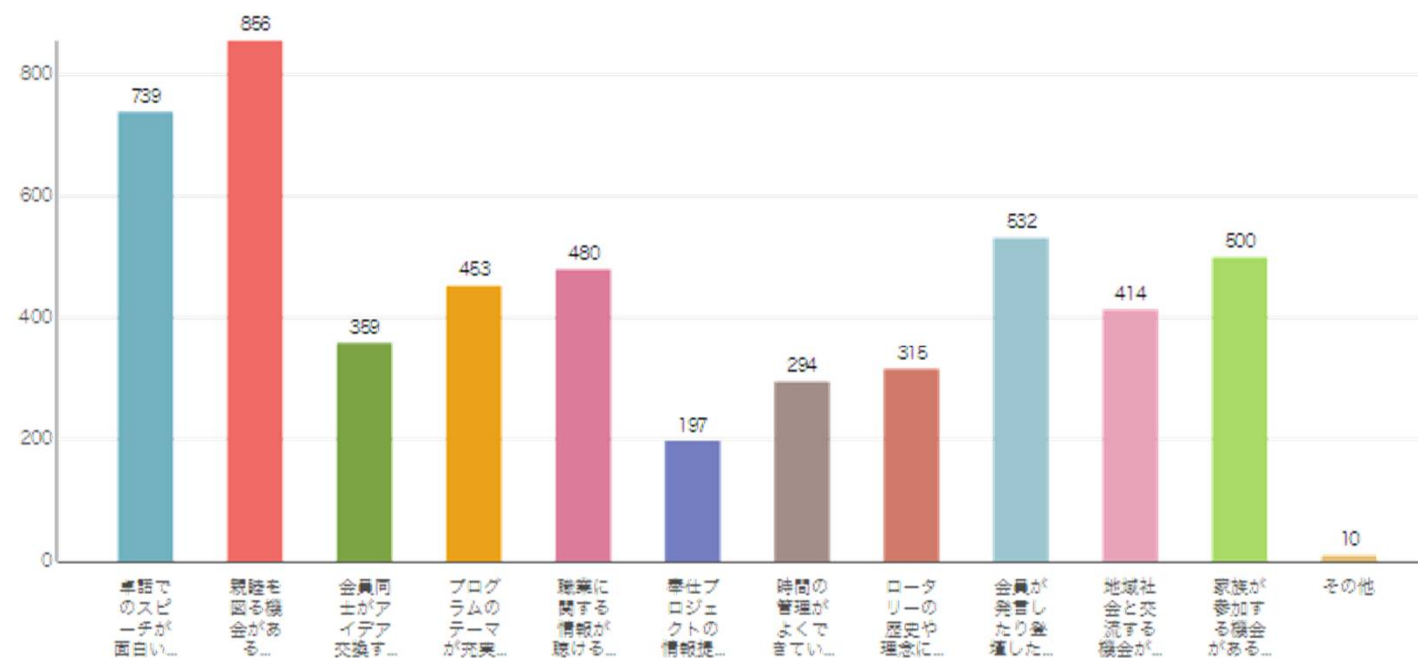
例会の充実

委員会の開催促進、奉仕に関連するゲスト卓話の実施

他団体との交流やイベント参加

8. 魅力的な例会とはどのようなものだと思いますか？（複数回答可）

「親睦を図る機会がある」「卓話でのスピーチが面白い」という意見が大多数を占めています



回答選択肢	回答数	回答%
卓話でのスピーチが面白い	739	68.74%
親睦を図る機会がある	856	79.63%
会員同士がアイデア交換する時間がある	359	33.40%
プログラムのテーマが充実している	453	42.14%
職業に関する情報が聴ける	480	44.65%
奉仕プロジェクトの情報提供が豊富	197	18.33%
時間の管理がよくできている	294	27.35%
ロータリーの歴史や理念について理解を深める機会がある	315	29.30%
会員が発言したり登壇したりする機会が多い	532	49.49%
地域社会と交流する機会がある	414	38.51%
家族が参加する機会がある	500	46.51%
その他	10	0.93%
回答者数	1075	

その他とお答えいただいた方は具体的にご記入ください

成長できることが魅力であるという意見が複数挙がっています

地区委員会の理解をする為、地区委員長の卓話を6日、用意した。

経済人としての学びがある

各自、趣味的な事柄を重視したいと思います。

ロータリークラブを通して自己を省み、自己向上につながるきっかけとなる。

会員が成長できるゲスト卓話者を選出

近隣のクラブとの合同夜間例会等を増やすこと。

ニコニコハット（シルクハットを回し、会員全員が一言いいながらニコニコをする）

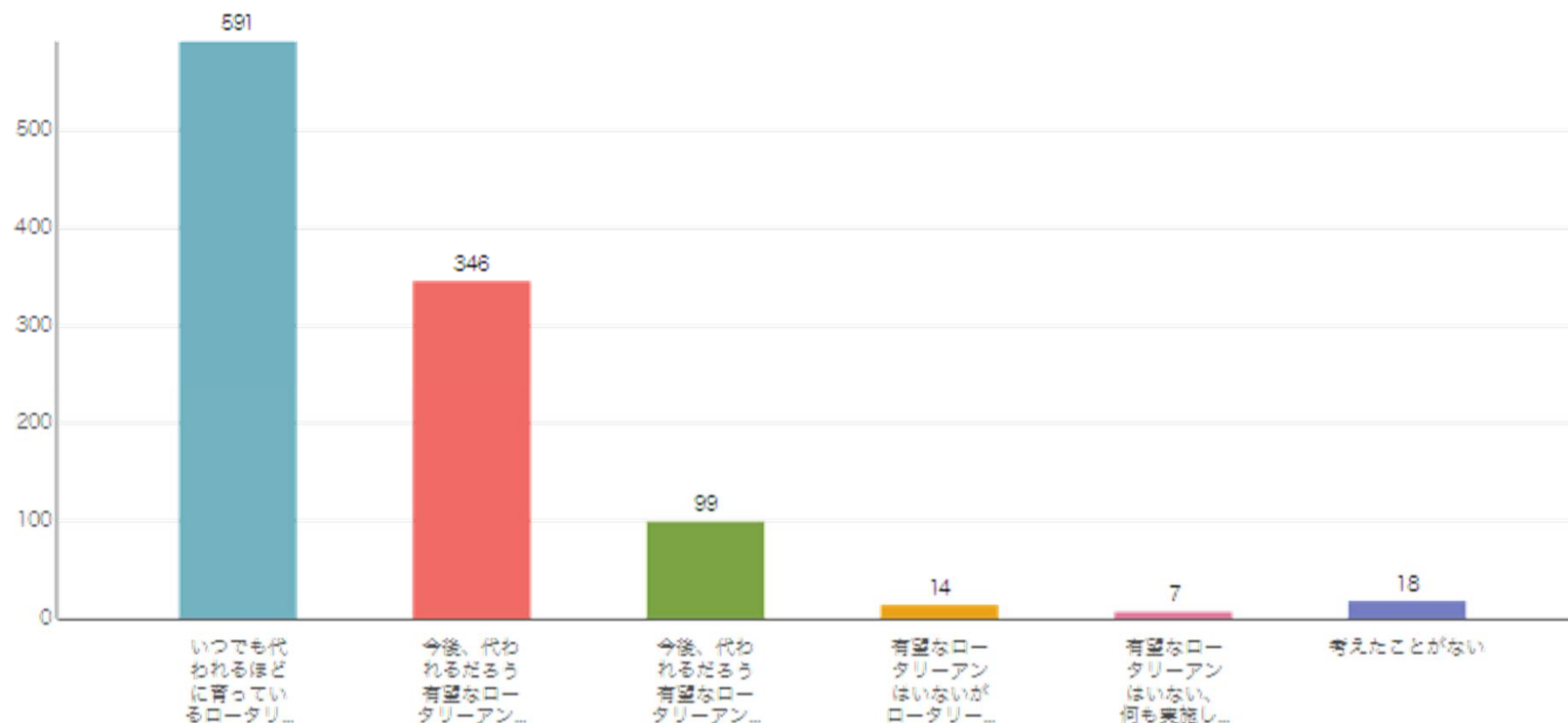
執行部側の一方通行的例会だけでなく、各テーブル毎のテーマを決めて意見交換の時間を設ける等の参加型の工夫が必要と思う。

面白い面白くないかは会員の気持ちの持ち様と考えます。

職業交流

9. あなた（クラブ会長）の代わりを務められる有望なロータリアン（次世代のクラブ指導者候補）はいますか？また、育成していますか？

半数以上のクラブが「いつでも代われるほどに育っているロータリアンがいる」と答えています



◇	回答選択肢 ◇	回答数 ◇	回答%
1	いつでも代われるほどに育っているロータリアンがいる	591	54.98%
2	今後、代われるだろう有望なロータリアンがいて育てている	346	32.19%
3	今後、代われるだろう有望なロータリアンがいるが、育てていない	99	9.21%
4	有望なロータリアンはいないがロータリー教育はしている	14	1.30%
5	有望なロータリアンはいない、何も実施していない	7	0.65%
6	考えたことがない	18	1.67%
	回答者数	1075	

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

特になし、ありがたいのみのコメントは除いたものを記載します

今は、新旧入れ替わりの過渡期で、どのクラブも右往左往しているかと。旧のご先輩の方々が変わろうとしていただけない限り、革新は難しいです。政治と同じです。幸い、うちのクラブは先輩が柔軟な方で、一歩進めましたが。

はじめてアンケートに答えましたが、とてもよい機会だと思います。是非、現場のこの実際の意見を参考にして頂けると幸いです。

アンケートを取られるだけでなく、是非このアンケートを活用して、具体的な行動、対策をよろしくお願いしたい。

奉仕プロジェクト、クラブ運営、今後のビジョン等々 思考しているのだが 歴史や伝統的に行っている事業をどのように改善するか良い方法を模索しています。 今後も中長期ビジョン委員会にて検討し方向性を見つめたいと思っています。 アンケートは非常によろしいかと思います。

このアンケートが、100周年行事にどのように活用されるのか分かりずらかった。 自クラブを見直すきっかけになるアンケートであるとおもう。 全員に実施した方が良かったのではないかな？ 会長用とその他会員用は内容が違うのかな？と疑問に思った。

結果を参考にしたい、楽しみにお待ちしております。

会員の老齢化が進んでいるので、40代～60代の会員を増強したいが、金銭面の負担もあり、中々入会者が見つからない。 また内向的な人は入りづらいと思う。

このアンケートが今後のロータリークラブの指針になればと思います。

会長（自分自身）の思いとクラブの歴史的な流れがあり、本アンケートではその違いが鮮明にできないと思いました。

アンケートに答える事によりロータリアンとしての考え方を再認識する事が出来ました。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

非常に取り組みやすく、参加しやすいアンケートだと思いました。会員増強については、会員維持という取組は、受け入れられやすいのですが、増強については、現在RIの決算状況を拝見する限り、支出と収入のバランスが保たれていないようなので、今後、会員が増えていった場合、より収支が悪化するかどうかの判断が、公開情報からは見いだせない状況なので、もう少し、公開情報を増やし、改善を進める必要があるのではないのでしょうか？ また、MyROTARYの活用について、奉仕活動の登録はできるのですが、写真や報告事項などをデータベース化し、活動の参考や、報告、メディアPRとして活用できるよう整理してみたらどうでしょうか？ ありがとうございました。

PETSに参加し、「ビジョン」とか「戦略計画」という言葉をよく耳にしましたが、我々のクラブにおいてこのような言葉を耳にすることなく今日まで運営されてきました。確かにロータリアンの減少また将来に向けてこの状態が持続されるであろうことから考え、今から戦略計画を立てて今日より対応する必要は感じられる。（外部要因から）戦略計画を耳にすることなく今日あることの幸せを感じており、私はむしろいろいろな面で活性化をはかり一つ一つ対応することが戦略計画かとも思います。今年度会長としていろいろな行事（同好会、家族同伴夜間例会、毎週の例会、フォーラム、I.M.、地区大会への参加等）に会長自らが会員へ声掛けをすることにより、30%以上の増加でもって実施が出来ていること、会長、幹事、理事、委員長から会員に向けての意識高揚と理解が肝要と思っております。

クラブそれぞれの考えや形があり、それは非常に大切だと考えます。クラブの大小にもより、それぞれのビジョンの具体例を、示してほしいと思います。

私どものRCではメイキャップをこれまで通りの前後2週間ですが、地区内のクラブでは様々です。クラブ出席率を100%に対して今後クラブ内で長老の考えと、若手の思い等の様々な意見が飛び交うことが予想されます。将来的には出席率100%の位置付けが軽くなると考えます。

私は有望なロータリアンではないが、流れの中で会長になってしまった。従って今年度のクラブ運営をつつがなく行うことで手一杯です。次の有望なロータリアンを育てようというような余裕はありません。それは、PG、AG、P会長の責務と考えます。

あらためてクラブ運営を考える、きっかけになりました。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

まだまだしっかりとしたビジョンが見えないので今後検討して策定しないといけないと思う。
ロータリークラブの活動に関われる時間には制限があるため、地区でのセミナーや行事にとられる時間が増加すると、その分クラブの運営のために使う時間が減ってしまいます。地区での行事や話は重なっていることが多く、私たちは限られた時間の中で活動していることを考慮いただきたい。時間に余裕のある人しか、クラブの役員になれないという現状では困ると思います。
会員増強が地域的エリアがあり遠方では例会会場まで1時間以上かかる地域等もあり今後年間例会開催の数等の変更など考えなければいけないと思う。また、退会者も年齢が高くなり病気等でやむをえず退会しなければならないメンバーも出てきた。
規定審議会でクラブのタガを緩める方向に進んでいる今、クラブの団結を維持するには会員の欲を刺激してロータリークラブに入って得をしていると思わせないと辞めていく。金を払って仕事を押し付けられるではやって居られない。御高説はもっともながら金を払って仕事を押し付けられても結果的に自分が儲かるから居るとしないと消滅してしまう。英国とEUの様に日本ロータリーは国際枠ロータリーから距離を置いてはどうか！日本なりのロータリーが有っても良いのではないかな。
クラブの内情を理解して頂くことは重要だと思います。クラブにより温度差があると思いますので他クラブとの情報交換、情報の共有は必要であると思います。
本アンケートのようなクラブの実情把握のための取り組みは大変重要かつ有意義だと思います。今後も折に触れて実施され、結果が各地区やクラブの運営に資する対策へと結びつくことを期待しています。
柔軟な考え方を持った若いロータリアンを作っていきたいです。女性会員数を伸ばすことも必要だと思います。
会員増強は、重要な課題ですがロータリーを良く知って勧誘すればするほど、敬遠される事もあります。入ってからどう接していくかが重要で、退会防止につながる。仕事目的で入る人もいますし。私は、何の考えもなく入会しましたが（断りきれず）、入会5年後くらいから、色々な職種の方や同好会や飲み会に参加しているうちに、やっと馴染み、ロータリーの事も徐々に認識できるようになりました。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

クラブが未来永劫繁栄する為に何が必要が、改めて考える機会になった。素晴らしいアンケートでした。
質問内容がとてもためになります。そのまま、今後の活動の方向付けにつながると思います。一人でも仲間を増やすためにがんばりましょう。
ロータリーでは初めてWEBアンケートに参加いたしました。とても回答しやすいと思いました。
より良い100周年ビジョンレポートが出来上がることを期待しています。
会長用アンケートも会員用アンケートも、設問内容が充実していると思います。プラス思考の設問は、それ自体がクラブ運営のモデル（インスピレーション）になり得る大変すばらしい設問だと思います。もっとアンケートして欲しいぐらいです。また、私は入会8年目なのですが、10年前の会員数を調べたら増えていたことに喜びを感じました。もっと、こういうアンケートを増やしてください。
クラブでは2008年に通年計上の目標としてビジョンを策定している
アンケート結果を公表していただけるとありがたいと思います。
例会出席を大切に考えております。入りて学び出でて奉仕せよ。出席することでロータリー精神が自然に身につくと思います。
取りまとめてフィードバックしてもらい参考にさせていただけることを楽しみにしています
柔軟性が認められた事はクラブにとって良かったと思うが、従前の会員一業種一名というものは、踏襲した方がよかったのではないかと考えている。
毎年、新しい会長方針が出るため、方針や事業の継続が出来にくいと思います。また、近年、会員増強が強調されており、入会候補者の選定基準が曖昧になり、入会後に課題を残すケースもあるようです。
改めて今回のアンケートを回答して再認識させられました、クラブの今後においての、運営、活動に活用させていただきます、有り難うございました。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

アンケート調査結果を公表していただきたい。
地域におけるロータリークラブの認知度が低い。ロータリークラブの存在をアピールしていく。
いつもお世話になっています。まだまだ飽きないロータリー、と続けられるようなクラブづくりをしていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願いします。当クラブは、会員が経営者ばかりではないクラブです。今、仕事や介護や育児に専念している「かつては積極的にクラブの中核にいた」会員が、いつでも「帰って」こられる、拡大家族のような場所になったらなあ、と思ひます。
今年度は毎例会時に〇〇ロータリー体操（ロータリーソング「手に手つないで」の曲に合わせて作成したオリジナル体操）を行っている。
Eクラブと言う特殊性を踏まえてメーキャップをしていただく立場なので今回の改定でメーキャップ者が減少すると思ひましたが全く減りませんでした。
充実したロータリー活動をするには会員の増強が必要であるが、他のクラブとの競合もあり、なかなか会員の数が増えないのが悩みの種である。具体的な方策があれば是非ともご教示願ひたい。
各クラブ、特徴がありそれぞれの楽しみ方があると思ひます。それぞれの良いところを取り入れて、親睦を深めることにより、今後の奉仕活動、または会員増強につながると思ひております。アンケート等各クラブの良いところ、悩みなど各クラブ共有する事で発展に繋がると考えます。
最近のように、会員はどのような人と思われる柔軟性が多くなりましたが、逆に、ロータリーの魅力がなくなり、会員増強もなかなか進まないのではないかと。会員になってメリットを感じられるクラブでなければならぬと考えます。少なくとも、日本のRotaryは、過去のクラブとして誇れる点を明確にして、それらを前面に打ち出して、他の団体との差別化を図るべきと考えます。
ロータリーに対する考え方の、ジェネレーションギャップを感じます。ステータスを求める世代と、一つのボランティア団体と考えている世代のギャップ どちらを求めるか、地方の孫クラブに成ると難しい問題です。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

こんなことを真剣に考えることがなかったので、非常に良かった。
きれいごとではなく、本音でのアンケート調査をも考える必要がある。
増強も大切でしょうが、折角仲間になった会員が退会する方が悲しい。先ずはロータリーを楽しんで頂きたい。
政策ビジョンも重要ですが会員の「数」を増やしかつ「質」を向上させるという事がクラブ発展のキーになるものと思います。地道ですが「研修機能の充実」を地区と連携して推進したいと考えます。WEB研修プログラムがあると良いと思います。
結果の返信をお願いします。
地区のセミナー等の内容に毎回疑問を感じる。地区役員の紹介が長い、多い。一人でやれば良い事を何人も立ち代わり行うことで時間を浪費している。わざわざ行かなくてもメールで十分。せいぜいオンラインセミナー。とてもあれだけの人を集めて行う内容とは思えない。セミナーに新会員を呼ぶように言われるが、行かせたら辞めてしまうだろう。
アンケートですので簡単でよいですが、クラブの規模により回答にも「差」が出ると思われますのでデーターとしては項目によりますが不十分に感じます。
日本のロータリーが100周年を迎えるにあたり、様々な試みをされていると思います。少しでも、日本のロータリークラブやロータリアンが活性化するために存続するための一助になればと思います。最近、「源流の会」の資料など自ら学び、若手会員にも利用し学ぶよう促しています。
会員増強の重大性を痛感している 地域社会・他団体との交流を深める
ロータリークラブそのものの継続性ないし継続への意識を醸成するための一助になると思います。
メーキャップについては、例会途中で帰る人が多い。出席の補填のための出席は意義を認められないし、訪問クラブに対しても失礼である。メーキャップは点鐘まで出席しなければ認めないことにすべきだ。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

例会のメークアップ期間変更は、説明が不十分で理解しにくい。出席報告の変更説明などあれば会員の理解度が高まり、実施変更可能と判断できるが現段階では、現状で行くしか無い状況である。
私自身はロータリアンである事に誇りを持っていますが、日本に於いてはロータリーの認知度が低いのを残念に思っています。公共イメージの向上と併せて認知度の向上は、1クラブ単独の努力では限界があると思いますので、可能であれば地区主導で取り組んで頂ければ……と思っています。
途中で退席する人の多い欠席補填のためのメークアップはやめるべきである。点鐘まで出席した場合だけ出席とするべきである。メークアップに来たからには最後まで出席することが礼儀である。
回答しやすいフォーマットでした、ありがとうございます。 会員の増強が一番重要な課題だと認識しています。
集計結果の開示をお願いします。
アンケートの具体的な主旨がわかりづらい
URLが長い
本アンケートにより今後の指針・問題点が浮き彫りになれば幸いです。
定期的なアンケートに賛成です。
アンケートの効果は判断材料にはなるが、全てでは無い！
当クラブではまだまだ若手と言われる私が会長職につけるのも、長きに渡り当クラブを守ってきた諸先輩方のおかげだと思っております。 会員の中には「世代交代」と言われる方もおりますが、まだまだ背中を見せて頂きたいと思っております。 アンケートを通し、我がクラブをもう一度じっくりと考える機会を与えて頂き有難うございました。
大変、良いアンケートだと思います。私も会長に就任する前から、このアンケートにあるような問題意識を持っていました。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

この企画は大変良いと思いますが、アンケートを集計の後にどのように私たちクラブに情報を頂き、クラブ運営に反映させることが出来るかが大切だと思います。また、質問が今までよりは踏み込んでいるように思いますが、それでも一般的すぎて「これでどのように変化するのかな？」と思ってしまいます。会員減少はクラブ存続の危機に至ってます。もっと踏み込んだ質問や解決案を話し合わないダメだと思います。
理事会運営についてのアンケートも 実施して頂きたく思います。
中小企業のメンバーなので地区研修の参加等難しい場合がある。 グループ単位の研修会を開催してみてはいかがでしょうか。
非常に簡潔で的を射たアンケートだったと思います。 今後もこのような形でクラブの意見を取り込んでいただければと思います。
会長になる前と後では、ロータリーに対する考え方、対処の仕方が変わりました。 このようなアンケートは、めんどくさいと思いますが、必要なことと考えます。
項目的には幅広い観点から質問を捉えているとは思う。ただ、複数回答の場合にどちらとも云えないような（あるいは類似した）選択肢が少なくなく、回答に戸惑うケースが多かった。
会員が誇りを持てる為にも、入会の意思のある人が何をするかわかる為にも、一般社会に周知させる為にも、ロータリークラブは何をしているかを、1年に1度ぐらいは日刊紙に全面広告で、意見広告を出してはどうか。
現在会員数が15名のクラブですが、何とかしてまずは20名のクラブにすることを目標にしています。今後ともよろしく御指導ください。
ロータリークラブの益々の発展を祈念しております。
伝統や格式を重んじる事は大切と理解していますが、新しい時代や世代に対しての柔軟な対応、組織運営も必要と感じています。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

他クラブの状況意見も参考にしたいため、できれば集計状況のデータ化をいただき、開示してほしい。
いつもありがとうございます。当ロータリークラブ入会のベネフィットは下記の4点として会員増強しております。 1.世代を超えた友達ができる 2.人との出会いで自己が磨かれ成長する 3.国内外の奉仕活動に参加出来る 4.1～3を通じて理想のビジネスパートナーに出会える
ロータリークラブは、共に奉仕の理想を信じ、ロータリアンが、地域を明るくする活動を考え、地域の仲間と共に積極的に参加し行動を興す。そして、共に活動できる「仲間」づくりが大切です。 活気あるロータリークラブ作り、「仲間」づくりをして行きたいと思います。
我がクラブの今年度のテーマ『たのしいロータリークラブをめざそう』です。皆さんが楽しめるよういろいろな工夫をしていますが、会員増強については、難しいことと感じております。
我々独自でもクラブが成長発展する施策を策定し、実施しています。 さらに魅力あるロータリークラブにする為の施策の策定をお願いします。
アンケートの内容が充実しており包括的で良い内容だと思います。
アンケート回答するときに「次に」しか進めず、元の質問に戻れないのが不便です。
このアンケートとは、直接関係ないかもしれませんが、当地区は、ローターアクトクラブの数は約30から6クラブへ著しく減少してきている現状があり、いろいろ原因もあります。ロータリアンの関心が、あまり青少年への支援、教育活動にないように思われます。経済的な支援も重要ですが、もっと根本的なことを考える必要があるようにおもわれます。地区、日本全体において。
いよいよ日本のロータリークラブ100周年ですね。これを機会に一層発展すべく、微力ながら邁進してまいります。
ロータリーに入会した目的が様々であるが故、クラブの在り方についての考えはいろいろ違います。地域社会への奉仕目的や、親睦目的など。
クラブの活性化、会員増強はクラブ会員の親睦活動が一番重要であると考えています。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

定期的に実施していただくことで、時の会長や会員の中でも更に問題意識を持てるようになるので有効なことだと感じます。
各クラブの状況が良く把握できるアンケートだと思います。他クラブの状況や会員の考え方を参考にするためにも、集計結果が知りたいと思います。
ありがとうございます。世界に、地域に喜ばれ、親しまれるロータリーを目指しましょう。
改めて、クラブの現状を再確認する機会となりました。全国の集計結果が出たら、当クラブにどの様にフィードバックするか、考えてみたいと思います。
各クラブ会員増強が課題ですね！ アンケートがやりやすく出来ていました。
様式のことですが、間違っても前ページに戻れないのが困りました。途中で終了させて初めからやり直そうとしても、途中の画面からしか出ませんので間違えたまま終了させるしか出来ませんでした。
アンケートの趣旨はなんですか？
例会数が少し減少して、楽になったという会員が多い。全会員がクラブを育てようとする気運の盛り上げを築くこと。
当クラブも十数年前からペットボトルキャップを集め、洗浄して管理会社へ持参し、ポリオワクチンに変える微力ながらポリオ撲滅に協力しています。ロータリーが全体で、各クラブが簡単に協力できる事業があればよいと思います。
9の問いについて：育てているのではなく、前向きである。高齢、体調不良、個人経営、季節によって出席不可となることがあり合併の話も出ます。
少数ですが、充実した 継続的な社会奉仕を心掛けて日々活動しております。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

ローカルのクラブは地元に着いていかないと、先がない。人口減少のもと、長年のインターアクト高校が統合される。統合先で残るかどうか難しい。都市型クラブは会員増強に事欠かない。ローカルクラブは新規獲得が難しい。小規模事業者までを新規会員にと誘うが、昨今の人手不足などで自らが現場に出なくてはならない。活動に参加できる人は少なくなっている。

ロータリアンと世界平和との関係の設問が欲しかった。

メーキャップも柔軟になり個々が対応しやすいと思うが一番大切なことは時代に合う 対応かと思えます。定款細則は時代に合うよう改定を望みます（英語を日本語に訳すだけではなく意味も日本に合わせては?）

とても整理された答えやすいアンケートでした。

このアンケートを分析された結果については、どのようなかたちであれ、各クラブにご提供いただければ有り難いです。

地域における経済の低迷、特に中小企業は厳しい経営を強いられている状況において、会員増強も難しい状況である。また、M&A等で株主（親会社）の利益優先主義となる企業も見え隠れする中で、ロータリーのような奉仕活動に前向きでない企業も多い。当クラブにおいても某企業の支店長がRCの会員となっていたが見直された。嘆いていても仕方ないので、ロータリーの魅力を発信していきたい。

かなり自由にお答えしました

クラブ運営で参考になりました。ありがとうございます。今後共宜しく願います。

年齢別との交流が特に必要性であり、お互い理解を持って協調して世代交代を進めてクラブの歴史を継続し新時代に合ったクラブ創りを進めていきたい。

アンケートは良いことだと思います。

アンケートの問いに、今後迎えるだろう会員減少によるクラブ統廃合に関する問いもクラブ長期戦略策定に際し必要になって来るのではないのでしょうか。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

ビジョン策定等、今後もクラブ内での意識の醸成を図っていきたいと思います。
10名の会員です、会長を3回経験している会員がいるほどです。なによりも増強が一番だと思っていますが、ロータリーの魅力、価値、誇りというものの伝え方に苦慮しています。
我々の地区は中小零細企業が多く、景気に左右される経営者が多いので、会費や例会の時間の確保が難しいとして、会員増強の際入会を、断られることが多い。よって、時間の都合により参加できる準会員を利用しようと思います。
回答者、又はクラブへのフィードバックをお願いいたします。
元気なクラブを紹介する機会がもっとあれば良いと思います。
本アンケートにチェックを入れるだけで、当クラブの現状が浮き彫りになりました。良い作業でした。定期的にあると、クラブの見直しに直結します。
アンケートの趣旨が分かりにくい。細かな選択がもっとあれば、どっち付かずで、判断に困った箇所もありました。
改めて見つめ直すことができた
活気のあるクラブ運営の為にこれからも頑張ります。
国際ロータリー、審議委員会における変更事項を増加させないでほしい。できるだけシンプルにして不易なものを求めます。
どこでも同じような現象でしょうが、老舗のクラブなので高齢化、若い人が中々入会が無く、減少化しつつありますが、会長役の人の活動が多く、大変だと感じ取るため、会長になる人が中々おられないのが、頭痛の種です。会長の動きを少なくして、誰でも会長役が出来る様になればと思います、何か良い方法があれば。
このようなアンケートにこたえる事によって、気付きを得ることが多いと思った。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

アンケート資料作成に当たり、完成資料をクラブ又は個人に戴けるのでしょうか、？
複数回答の質問は、すべての項目を選んでもよいと思える設問もありましたが、特に重要だと思う項目に絞って選択しました。
変化に対応したロータリークラブの新しい活動が必要だと考え、実施しているが、一方で古い会員からは、反発もある。新会員の増強や若い会員とのギャップがあり、運営や活動でバランスが求められている。
私見で申し訳ありません。前述させて頂いた様に、都市部のクラブと地方クラブでは、様々な状況・条件の違いが有ると思われ、本分中の設問に対する回答例のチェックが難しい部分もありました（最も近いと感ずるものをチェックしました）。
会長は1年で代わりますが、数年後までの継続的な奉仕活動や計画を話し合い、継続的な活動を行える環境を確立したい。単年度の活動ではなく、あくまでも継続的な活動を踏まえた上で、その年でやるべき事を行って行く事が必要に思います。これが出来れば、クラブ独自の活動が確立され、新会員への啓発にも有効に進める事が可能となると思われます。
このようなアンケートをクラブ内でも実施できるように仕掛けの提供をお願いしたい。
日本のロータリークラブが思っている事がわかることを楽しみにしています。
初代会長のご推薦で入会してから28年になります。今は亡き先輩方から学ばせていただいたことや教えを次世代に伝えていくことが自分の役目であると考えております。
柔軟性は良いことだが、ロータリーは年齢の幅が広すぎて、年配の方は受け入れ切れないと思います。長寿社会になり、50年くらいの年齢の幅があることに対して、考えていくことは、今後、大事なのでは。
少数会員のクラブですが、少数精鋭 それぞれの得意分野で活躍中です。会員拡大増強に取り組んでいるところであるが、入会までに至っていない。
今回のようなアンケート方式は回答しやすくストレスが無かった。 気負わずに協力できました。

10. 最後になりましたが、本アンケートに対するご意見等ございましたらご自由にご記入ください

会長として、間もなく半年になりますが、まだやり残したことがあります。これからも、メンバーと共に、「奉仕と親睦を通じて、繋がり覚醒していこう！」というスローガンのもとロータリー活動を楽しんでいこうと考えています。

現在、会員増強が何より重要だと思っています。改めてロータリーに対する考えがはっきりして良かった。

楽しくなければロータリーの精神も育たないと考えています。そこから奉仕の楽しさを感じていただければと思って活動してます。

100周年を迎えて、変革すべきところ、変わらず守るところを皆で共有し求心力を高め楽しいロータリアンを増やすべきと考えます。